

昭和館所蔵 公刊された昭和20年の日記目録

佐藤綾子

解 説

本目録は、昭和館図書室が所蔵する公刊された日記のうち、昭和20年の記述がある資料についての目録である。

戦中から戦後にかけての激動の時期、日記を書くということ自体に大きな困難が伴った。書くための時間的、精神的な余裕が失われ、書きつける日記帳やノート等の筆記用具も不足しており、書いた日記も空襲等で失われる場合も多く、残すということもまた困難な状況であった。

当館の検索システムは目次情報を検索できるが、本目録に収録したような日記は、目次には日記が書かれた年のみが記載されている場合が多い。昭和20年という年を伝える資料として、さまざまな立場の人が書いた日記を活用できるよう、日記が書かれた当時の年齢、居住地、立場など著者情報をまとめたうえで、月ごとに記述のない日を把握できるよう、本目録を作成した。

これらの資料は当館の検索システムで検索し、閲覧することが可能である。当室の資料番号(9桁)からの検索が最も簡易に該当資料にたどりつけると思われるので、書誌事項の末尾に資料番号を付した。利用いただければ幸いである。

凡 例

- I 収録範囲
この目録は、当図書室が平成27年3月31日までに整備した蔵書を対象とした目録である。ただし、平成26年4月以降受入の寄贈及び購入図書で未整備のものについては今回収録していない。
- II 配 列
日記の著者の生年の早い順、生年が同じ場合は著者名の五十音順に配列した。生年が不詳のものは最後にまとめた。
- III 記載事項
①書名 ②出版者 ③出版年 ④資料番号 ⑤日記の著者 ⑥日記の著者の生年 ⑦昭和20年の著者の状況 ⑧収録されている期間 ⑨昭和20年中の記述がない日 1ヶ月間記述がない場合は○月と記載 ⑩備考(索引、関連資料の有無等)
- IV 表 記
表記は基本的に蔵書データによる。地名、学校名等については、日記が書かれた当時の名称を採用した。

昭和館所蔵 公刊された昭和20年の日記目録

書誌情報(書名 出版社 出版年) 資料番号
日記の著者 生年 昭和20年の著者の状況
日記の収録期間
日記の記載がない日
備考

辛酸 叢書・同時代に生きる;4 戦中戦後・京の一庶民の日記
ミネルヴァ書房 1980年 000051758
田村恒次郎 1870年生 撞玉場を経営。京都府京都市在住。
昭和19年7月12日～昭和25年6月29日
1/2-3,5-6,9-14,17,20,22,26-30 2/1,3-4,6-15,17,21-24,27 3/1-4,6-7,9,15,17,19,21-31 4/2-13,15-30 5/1-2,4-7,9-14

柳田国男選集8 炭焼日記 修道社 1972年 080005711
柳田国男 1875年生 民俗学者。東京都世田谷区在住。
昭和19年1月1日～昭和20年12月31日

新版 断腸亭日乗 第6巻 岩波書店 2002年 060002085
永井荷風 1879年生 作家。東京都麻布区在住。3月10日、東京大空襲で自宅(偏奇館)焼失、代々木の杵屋五隻宅に寄寓。菅原明朗夫妻とともに避難することとし、6月3日兵庫県明石市を經由し、12日に岡山県岡山市着。28日に空襲に遭い、市内を転々とした後、7月3日から三門町の武南功宅に寄寓。9月1日から、静岡県熱海市和田浜の木戸正方に疎開していた杵屋五隻宅に寄寓。
昭和20年1月1日～昭和27年12月31日
6/12

続・現代史資料4 陸軍畑俊六日誌 みすず書房 1983年
000019559
畑俊六 1879年生 教育総監。東京都世田谷区在住。
昭和4年10月7日～昭和20年3月28日

竹下雨水時局日記 昭和18年10月27日から昭和20年9月18日
文泉堂書店 2010年 000053604
竹下雨水 1882年生 文泉堂書店店主。静岡県田方郡伊東町在住。
昭和18年10月27日～昭和20年9月18日
1/1-2,4-5,8-10,16-18,20-21,23,25,28-29 2/1-2,6-8,12-28 3/1-2,4-5,7-11,13-14,18-29,31 4/2-3,7-8,10-11,14,17,19-21,26-30 5/1,4,6,11-12,14,17-18,21-23,27-29 6/1,4-11,14-16,19,25-26,28-29 7/2-3,7,12-14,19-20,23,29-30 8/4-9,11-12,16,18-19,21-23,25,29-31 9/1-2,5,8-17

次田大三郎日記 山陽新聞社 1991年 000031824
次田大三郎 1883年生 幣原内閣書記官長。
昭和20年10月6日～昭和20年12月2日
10/14,28-31 11/1-4,11,18

鳩山一郎・薫日記 上巻 鳩山一郎篇 中央公論新社 1999年
000037820
鳩山一郎 1883年生 長野県軽井沢在住。
8月22日に上京するが、音羽の自邸焼失のため、港区永坂の石橋正二郎邸に住む。11月9日、日本自由党を結成、総裁に就任。
昭和13年2月2日～昭和26年6月11日 昭和18～19年はなし。
1～5月 6/1-9 10/1-2

石橋湛山日記 上 昭和20-31年 みすず書房 2001年 000040352
石橋湛山 1884年生 東洋経済新報社社長。東京都芝区在住。
3月10日の空襲で自宅が全焼し、神奈川県鎌倉市に疎開。7月5日に秋田県横手へ疎開。終戦後、東京と横手を行き来するが、9月30日に鎌倉に戻る。
昭和20年1月1日～昭和26年12月31日
1/3-4,9,12-14,16-17,19-21,28-29,31 2/3,5,7-9,13-18,20-28 3/1-7
下巻に人名索引あり

楠山正雄の戦中・戦後日記 辞典編集・演劇・童話の仕事を実に追う 富山房 2002年 000044484
楠山正雄 1884年生 東京都麻布区在住。4月26日から東京都北多摩郡久留米村に疎開。
昭和17年9月1日～昭和24年4月16日 5月4日から8月13日の間に「今年事多し、一々誌さず。此の間、四児相次ぎ家を離る。家亦焚く。流転し事改まり、新生第一年の思い」と記され、2～8月の家族の動向、仕事について12項目に分けて記されている。
1/13,16,17,24,26,28,29,30,31は天気のみ 2/13は天気のみ 3/6,13,19,20,22,25,26 4/5,6,7,9,12(天気のみ),16-24,28 5/5-31 6～7月 8/1-12, 27(天気のみ) 9/2,21は天気のみ 10/4(天気のみ),5-8,18-19(天気のみ),25-28,30(天気のみ) 11/1,2-3(天気のみ),9(天気のみ),14-19,21,22,24,26 12/1(天気のみ),14-17,19-22,29(天気のみ)

神と愛と戦争 あるキリスト者の戦中日記シリーズ・戦争の証言
13太平出版社 1974年 000040337
森下二郎 1885年生 長野県上伊那郡片桐村在住。
昭和6年1月8日～昭和20年9月29日
1/3-13,15-20,24-26,28-31 2月 3/4-20,22-23,29-31 4/4,7,9-11,16-19,22-29 5/2,5-6,8-10,12-13,15,17-20,22-25,27-30 6/1-2,4-6,9-11,14-15,17-20,22-24,26-30 7/2,4-10,12,14-15,17-21,23-24,26-31 8/1-7,9-10,14,16,18,20-21,24-27,29,31 9/1-4,6-13,15-16,19,22-24,26,28

風見章日記・関係資料 1936-1947 みすず書房 2008年
000050835
風見章 1886年生 元代議士。東京都品川区在住。
妻と子ども3人と暮らす。3月25日、強制疎開地に指定され取り壊しが決まったため、郷里の茨城県豊田郡水海道町に疎開。7月22日、長男の結婚式を挙行。
昭和14年5月14日～昭和21年2月28日
1/9-10,26,28 3/21-22,24-31 4/2-3,5 9/4-12
人名索引あり。「日記」以外に「手記(抄録)」が収録され、日付が記載されたものもあり。

芦田均日記 1巻 岩波書店 1986年 000018564
芦田均 1887年生 政治家。神奈川県鎌倉市に疎開中。10月9日、幣原内閣で厚生大臣として入閣。
昭和19年9月29日～昭和22年5月31日
1/1-11,14-19,21-27,29-31 2/1-16,18-22,24,26-28 3/1-5,7-17,19-21,23-28,30-31 4/1-22,24,26-29 5/1-3,5-25,27-31 6/2-26,28-30 7/11-19,21-23,26-31 8/1-9,12-13,17-19,21-31 9月 10/1-8,10-19,21-25,27-31 11/1-8,10-30 12/1-15,17-24,26-29
「日記」とは別に「手帳日記」も収録されている(昭和20年7月21日～昭和22年5月31日)。英語で記録されている部分が多いが、昭和20年は全日記載あり。

一皇族の戦争日記 日本週報社 1958年 000002027
東久迩稔彦 1887年生 皇族、陸軍大将。8月17日第43代内閣総理大臣に就任。10月9日辞職。
昭和16年1月1日～昭和20年10月9日
1/2,4,6-7,10-12,15-17,19-21,25,27-30 2/4-5,9,10-11,17-19,23,27-28 3/3,5-7,11,13-15,17,19-20,23 4/2-3,7-13,17,21-23,26-28,30 5/1,3,6-8,10-11,13-14,16-19,23-24,28-31 6/1-8,11-16,19-22,26-30 7/1-6,8-9,11-26,29,31 8/1-2,4-5,7 9/21,23,28,30 10/6,8

遅過ぎた日記 上 終戦のころから 朝日新聞社 1954年
080005718
長与善郎 1888年生 東京都目黒区から一家13人で神奈川県津久井郡藤野村に疎開。4月、同郡内の牧野村に再疎開。
昭和20年8月9日～昭和20年10月6日
9/3,8,22

遅過ぎた日記 下 終戦のころから 朝日新聞社 1954年
080005719
長与善郎 1888年生 東京都目黒区から一家13人で神奈川県津久井郡藤野村に疎開。4月、同郡内の牧野村に再疎開。
昭和20年10月8日～昭和21年10月1日
10/7,24,28 11/2-6,9,11-12,17,19-22 12/3,5,10,19,26-28

木戸幸一日記 下巻 東京大学出版会 1966年 000003377
 木戸幸一 1889年生 内大臣。12月15日、A級戦争犯罪容疑者として巣鴨に収監される。
 昭和13年～昭和20年12月15日
 4/6-12(14日の空襲で手帳を焼失したため) 10/31
 人名索引あり

木戸幸一日記 東京裁判期 東京大学出版会 1980年 000003376
 木戸幸一 1889年生 内大臣。12月15日、A級戦争犯罪容疑者として巣鴨に収監される。
 昭和20年12月15日～昭和23年12月31日

戦藻録 後篇 故海軍中将宇垣纏日記 日本出版 1953年 000005794
 宇垣纏 1890年生 第5航空艦隊司令長官。8月15日、玉音放送後に大分飛行場から彗星爆撃機で沖縄沖に特攻し死去。
 昭和16年12月7日～昭和20年8月15日
 2/1-9

暗黒日記3 復初文庫;13 評論社 1973年 080005716
 清沢洌 1890年生 外交評論家。5月21日没。

大木日記 終戦時の帝国議会 朝日新聞社 1969年 000036543
 大木操 1891年生 第10代の衆議院書記官長。5月24日に書記官長官舎が焼夷弾の直撃を受け焼失したため、2ヶ月間議事堂内で生活。7月26日より吉祥寺の新官舎に入る。10月11日、貴族院議員に勅選される。
 昭和19年6月15日～昭和20年10月5日
 「日記」関係人名録あり

高木惣吉日記と情報 下 みすず書房 2000年 000040349
 高木惣吉 1893年生 海軍大佐。
 昭和16年1月2日～昭和20年12月31日
 1/1-5,7-9,14-16,18-19,21,23-24,27-29 2/2,4-19,21,24-25,2-28
 3/1,4,7-9,11-12,14-15,17-20,23-25,27 4/1,3,5-6,8,10-13,16-21,23,
 27-29 5/2-3,20,26-28 6/18-20,24,29-30 7/1,6,8,18-19,22,29-30
 8/5,7,18-19,21-23 9/6-10,12,16-17 10/17,19,23-24 11/1,3-4,12,
 14,17-19,24-27 12/1-3,5-6,9,11,13-14,18,20,22,24-25,27,30

木佐木日記 第4巻 敗戦の時代〈昭和19年～昭和23年〉 現代史出版会 1975年 080005720
 木佐木勝 1894年生 改造社勤務。
 昭和19年7月10日～昭和19年8月26日
 昭和20年10月7日～昭和23年10月30日
 10/11-13,15-17,20,25-28,30-31 11/1-2,4-15,17-18,21,24,26-27,
 29 12/1-2,4,6-7,9-12,16,19,24-26,29-30

開戦からの日記 1941-1955 高橋愛子 1955年 000016503
 高橋愛子 1894年生 医師の妻、2児の母。東京都目黒在住。
 昭和16年12月8日～昭和33年4月27日
 1月 2/1-23,27-28 3/1-7,15-17,19,23,26,28-30 4/4,6-9,11-12,14,
 17-18,20-24,26-30 5/4-7,9-14,16,18-21,25,28-31 6/1-7,9,11-15,
 18-30 7/1-7,9,22,28,31 8/1-2,12,17,27,31 9/1,6,9-11,13,18,21,
 25,28-29 10/1-4,6,8,10-11,13,17-21,23-31 11/1,5-6,8,10-30 12月

戦中気候面帳 昭和十九年九月から昭和廿年八月まで 筑摩書房 1973年 080005736
 武井武雄 1894年生 東京都豊島区池袋在住。建物強制疎開により家屋の一部が取り壊しとなり、4月2日に郷里の長野県岡谷市に疎開。4月13日の空襲で池袋の家屋および発送前の荷物焼失。
 昭和19年9月11日～昭和20年8月20日
 1/2,6-7,11,13-14,17-18,22-25,30-31 2/1,3-4,6,8-9,15,21,23
 3/13,15-16,20-21,24,26-31 4/4-30 5/2-31 6/1-20,23-29 7/1-2,4-6,8-14,16-19,26-31 8/1-14,16

戦後気候面帳 昭和二十年より二十四年まで 筑摩書房 1973年 080005737
 武井武雄 1894年生 昭和23年、単身帰京。荏原に仮寓。24

年2月末から板橋区南常盤台に新居の建設着手。
 昭和20年8月17日～昭和24年
 8/18-20,29-31 9/21-22,29-1 10/2-4,8-9,11,13-18,20-30 11/1-4,6-8,
 11-15,17,19,23,26-30 12/1-13,15-16,18-20,25-27,29-30

夢声戦争日記 第4巻 昭和十九年・昭和二十年 中央公論社 1960年 000030918
 徳川夢声 1894年生 弁士、漫談家、作家、俳優。東京都杉並区在住。
 昭和19年9月1日～昭和20年3月31日
 1/18-19

夢声戦争日記 第5巻 昭和二十年 中央公論社 1960年 000030919
 徳川夢声 1894年生 弁士、漫談家、作家、俳優。東京都杉並区在住。
 昭和20年4月1日～昭和20年10月18日
 7/9 9/26

素馨の花 吾が南方日記 青蛙房 1964年 000001918
 橋本徳寿 1894年生 第7方面軍軍政総督部に配属され、シンガポールで造船研究所員として造船関係の仕事に従事。9月、レンバン島に抑留。
 昭和17年5月3日～昭和21年2月15日
 1/18,20,27-30 2/3,7,10,13,14,16,19,22,23,27 3/17,18,19,22,25,
 27 4/2,4,20,23 5/4,7,8,9,11,14 6/30 7/5,17,24,25,27
 人名・地名・(その他)索引あり

八代目正蔵戦中日記 青蛙房 2014年 000057907
 林家正蔵(8代目) 1895年生 落語家。東京都下谷区在住。
 昭和16年12月1日～昭和20年8月31日
 1/4,6-7,9,12,15-16,19,21,23-25,28,31 2/8-9,11,13-25 3/2-3,5-6,
 8,22,25-27,30 4/5,7,9,11,20,23-30 5/1-15,18,21,23,25,27-28,30
 6/1,3-17,20,23-24,28-29 7/1-27,31 8/1,3,10,18,20,26-27,30

大仏次郎敗戦日記 草思社 1995年 000020259
 大仏次郎 1897年生 作家。神奈川県鎌倉市在住。朝日新聞に時代小説『乞食大将』を連載中。9月3日から約2ヶ月、東久邇内閣の参与をつとめる。
 昭和19年9月10日～昭和20年10月10日
 6/24-26 10/1

海野十三敗戦日記 講談社 1971年 000019150
 海野十三 1897年生 作家。東京都世田谷区在住。
 昭和19年12月10日～昭和20年12月31日

昭和天皇独白録 寺崎英成・御用掛日記 文芸春秋 1991年 000020396
 寺崎英成 1900年生 長野県蓼科在住。病気療養のため外務省を休職中。11月末に復職。東京都杉並区に転居。
 昭和20年6月8日～昭和23年2月15日
 8/18-19,21,27 9/1,4,9,11,19-22,24-25,28-29 10/1,3,5,7,9,11-13,
 17-19,21,23-27,29-31 11/1,3,5-6,10-13,16-17,19-20,22,24-30
 12/2-4,8-13,18,20-21,23-31

復員関係史料集成 第9巻 復員日記 ゆまに書房 2010年 000053828
 美山要蔵 1901年生 陸軍省高級副官。陸軍省解体後、12月1日からは第一復員省文書課長。
 昭和20年8月10日～昭和21年12月23日
 9/8,17,22,30 10/7-31 11月 12/1-2,5,9,13,16,21-23,29-31

渡辺一夫敗戦日記 博文館新社 1995年 000037836
 渡辺一夫 1901年生 フランス文学者。東京帝国大学文学部助教授。東京都渋谷区在住。3月20日、2児が新潟県西蒲原郡燕町に疎開。6月6日、妻と共に子どもたちのいる燕町を訪ね、6月29日単身帰京。
 昭和20年3月11日～昭和20年11月22日

戦時下の母「大島静日記」10年を読む 展望社 2004年 000045425

大島静 1902年生 石川県金沢市在住。
昭和17年1月1日～昭和26年12月31日

東京罹災日記 東京大空襲から一年を生き延びて 日本図書センター 1992年 000017519

大島辰次 1902年生 三菱製鋼東京製作所勤務。東京都深川区在住。3月10日の東京大空襲で自宅焼失、妻、2子、義母を亡くす。三男は新潟県北蒲原郡築地村に集団疎開中。11日から目黒区下目黒の妻の姉の家に寄寓。5月3日から葛飾区にある会社の独身寮に入寮。9月18日、深川区住吉町のアパートに転居。10月25日、疎開先に息子を迎えに行き、28日から親子2人での暮らしが始まる。11月26日から、息子を愛知県西春日井郡春日井村の故郷の親戚に預ける。
昭和20年3月9日～昭和21年3月1日

添田啞蟬坊・添田知道著作集3 空襲下日記 刀水書房 1984年 000022870

添田知道 1902年生 作家。東京都大森区在住。
昭和19年11月24日～昭和21年8月29日
3/25,27 5/10-12,17,20,23 6/13,17-18,26-29 7/29 8/3,24,27
9/1,7-8,10,13-15,22-25,27-30 10/3,5,7-8,10-11,16,25-26,29-31
11/3-7,9,31-16,21-23,26,30 12/1-2,6-7,9-10,12,15-16,19,28,30

敗戦前日記 中央公論社 1994年 000056206

中野重治 1902年生 作家、詩人、評論家。東京都世田谷区在住。武蔵金属研究所で圧延伸長工として勤務。6月22日、防衛召集令が来て、23日に東部168部隊に入隊。26日、陸軍二等兵として東部第27659部隊石垣隊第7分隊第4班所属となり、長野県小県郡東塩田村に行く。
昭和9年5月15日～昭和20年8月18日
1/1-24 2/24-25,27 3/3,8-9,11,13-14,30 4/16,20-21,29-30 5/1-14, 18-27 6/4-5,8-10 7/11,31
人名索引あり

矢部貞治日記 銀杏の巻 読売新聞社 1974年 000030924

矢部貞治 1902年生 東京帝国大学教授。京都世田谷区在住。12月に依願免官。
昭和12年5月28日～昭和20年12月31日
8/8-9,11,19-21 10/28-29 11/23,27,30 12/11,28,27
1/19,25-27 2/8-11 4/21,24 5/5-10 6/9,21,23-24 7/2,22-29は「関西旅行の記」として記されている。

日記昭和二十年 のじぎく文庫 1974年 000031039

井上勇 1903年生 尼崎市立高等女学校教諭。兵庫県尼崎市在住(妻子を赤穂郡赤穂町に残し単身赴任)。生徒たちは日本内燃機、理研工業等へ動員され、動員先の巡回、監督等に当たる。終戦後は各動員先と動員解除に関する打ち合わせを行う。9月10日から全校生徒登校。
昭和20年1月1日～昭和20年12月31日
1/2-3,5-6,9-11,14,18-22,24,26,28-29,31 2/3,6,8,13,15,17,19,21, 23-24,27-28 3/1-3,6,9-11,17,20-26,28-30 4/1-3,6,10-12,14-16, 19-2,24,26-28,30 5/2,5,8-10,12-14,16,18,20,22-24,26,28,30
6/5,9-10,12-14,17-19,23-24,29 7/5-6,13,18-20,26,30 8/1-2,12-13, 17,20-21,23,26-27,29-30 9/1-2,5-6,9,12,14,22,27,30 10/4-5,7-9, 11,14,17-18,20-21,26-29,31 11/1-2,4-5,7,9-12,14,17-18,21-24, 26-27,30 12/2,6-7,10-12,15-16,18,21,25-27

扇谷日記 文化評論社 1947年 080005703

島木健作 1903年生 作家。神奈川県鎌倉市在住。8月17日肺結核のため没。
昭和19年9月11日～昭和20年6月5日

古川ロッパ昭和日記 戦中篇 昭和16年～昭和20年 晶文社

1987年 000024100
古川緑波 1903年生 喜劇俳優。東京都新宿区在住。3月21日、妻と子ども2人は福井県に疎開。5月22日から東北、信越、北陸への約1ヶ月の巡業に出発。5月27日、空襲で自宅焼失の知らせを受ける。6月19日、福井の妻子を訪ねる。7月3日、帰京。大森区の知人宅に寄寓。
昭和16年1月1日～昭和20年7月27日

古川ロッパ昭和日記 戦後篇 昭和20年～昭和27年 晶文社

1988年 000024102
古川緑波 1903年生 大森区の知人宅に寄寓。9月24日、同区内で寄寓先を移動。10月29日、同区上池上町に家を購入。11月1日に転居、7日に妻子帰京。
昭和20年9月4日～昭和27年12月31日
9/8-10,13,16-18,21 10/2-3,5-7,14,116,19-22,26-27 11/3,9-10,12, 14-18,21,25-26 12/4-6,12-13,17,23,25-27

戦渦の長崎フ左日記 父と娘の“昭和”は色あせず 長崎文献社

2012年 000055885
松尾哲男 1903年生 長崎市港湾課に勤務。長崎県長崎市在住。妻と娘の3人暮らし。
昭和11年10月18日～昭和20年10月17日
1/2-5,7-27,29,31 2/1-10,12-28 3/1,3-11,14-20,22,24-26,28-31
4/1,3,5-28,30 5/1-2,5-7,9-16,18-24,26,28-29,31 6/1,3,5,8,10,13-17,21-28 7/5,9-11,13,16-31 8月 9/1-15,17-22,24,26-27,30
10/1,3-16

山本周五郎戦中日記 角川春樹事務所 2011年 060004416

山本周五郎 1903年生 作家。東京都大森区在住。妻と子ども3人と暮らす。
昭和16年12月8日～昭和20年2月4日
1/14-15,21,26,30-31

戦時庶民日記 海燕社 1976年 080005712

碓氷元 1904年生 歯科医。東京都杉並区から郷里の長野県南佐久郡岸野村に疎開。妻と4人の子どもと暮らす。
昭和16年1月1日～昭和23年12月23日
1/2-6,8,11,13,15-21,23,25-26,30-31 2/2-5,7,9,11,13-15,18,22-24, 26,28 3/2,4-7,9,11,13,15-17,19-22,24,26-29,31 4/5,8,10-12,14, 16-19,21-22,25-30 5/2-6,8-11,13,16-21,23,26-27,30-31 6/2-4,6-9, 12-14,17-24,26-28,30 7/1-3,5-9,11-13,16,19-23,25-27,29-31
8/1,3-4,11-12,16,20-21,23-26-27,31 9/1,3-5,11,14-17,19-23,25-28, 30 10/1,5-17,19-22,24-25,27-28,30 11/1-11,13,15-16,18-24,26-30

石油日記 戦中・戦後 日本経済新聞社 1979年 000036529

石崎重郎 1905年生 大協石油社員。東京都在住。
昭和16年3月13日～昭和28年8月27日
1/2-5,7-9,11,13-16,18,21,23,25-26,31 2/2-6,9-14,17-18,20,22-28
3/4,6-7,11-12,14,18-19,21,23-26,29 4/1-2,6,8-10,12-13,15,17-19, 22,24,28-29 5/2-9,11-14,17-18,20-26,30-31 6/1-4,6,8,10-12,14-17, 20,22-25,27-30 7/1-3,5-8,10-13,15-17,19-21,23-26,28-30 8/2-8, 10,12,14,17,19-21,23-28,30-31 9/1-2,4-6,8-9,13-16,18-28,30
10/2,4,6-19,21-28,30 11/1-4,6-11,15-18,20-25,28-30 12/1,3-10,1 2-16,18,20-30

太平洋戦争日記 3 昭和19年5月1日～20年8月24日 新潮社

1983年 000018856
伊藤整 1905年生 作家。東京都世田谷区千歳烏山在住。
昭和19年5月1日～昭和20年8月24日
1/1,4-8,1214-16,19,21-24,28-29,31 2/1,3-7,9-13,15,23-25,27
3/1-4,6,12-13,18-19,22-27,29-31 4/1-9,11-17,19-25,27-30 5/1, 4-5,7-16,18-23,25-27,29,31 6/1,3-30 7/1-8,10-17,19-31 8/1,3- 11,13-15,18-23

入江相政日記 第1巻 朝日新聞社 1990年 000018558

入江相政 1905年生 宮内庁侍従職侍従。

入江相政日記 第2巻 朝日新聞社 1990年 000018559

入江相政 1905年生 宮内庁侍従職侍従。

高松宮日記 第8巻 中央公論社 1997年 000032678

高松宮宣仁 1905年生 皇族、海軍大佐。
昭和20年1月1日～昭和22年11月5日
4/25-28
略年譜、人名索引あり

終戦戦後日記(一九四五～五〇年) 大正一法学者の晩年

有斐閣 2012年 000056394

穂積重遠 1905年生 東宮大夫。
昭和20年8月7日～昭和24年2月25日(東宮奉仕日録)
最高法官日記(昭和24年2月26日～昭和25年12月31日)

戦時日記 日刊福井 1983年 000023750
熊谷太三郎 1906年生 株式会社熊谷組社長。市会議員も務める。福井県福井市在住。7月22日、空襲で土蔵を残し自宅焼失。
昭和19年8月16日～昭和20年8月15日

徳川義寛終戦日記 朝日新聞社 1999年 000038512
徳川義寛 1906年生 昭和天皇侍従。
昭和19年1月1日～昭和21年11月4日
8月14日～8月15日については詳細別記あり。

秘録・終戦直後の台湾 私の終戦日記 高知新聞社 1979年 000031303
塩見俊二 1907年生 台湾総督府主計課長。公債支出をする認可を受けに東京に来ているときに終戦。9月9日に台湾に戻り終戦事務につとめる。
昭和20年8月15日～昭和21年12月28日
8/16-20,28,31 9/1-3,6,8,16-23,25-30 10/1-4,8-11,14-15,18-19,21-23,28-31 11/1-12,14-30 12/1-11,13-15,18-31

敗戦日記 文芸春秋新社 1959年 000003086
高見順 1907年生 作家。神奈川県鎌倉市在住。5月1日、鎌倉文化連盟の活動の一環として貸本屋を開く。
昭和20年1月1日～昭和20年12月31日
1/4,26,31 3/29-31 4/1-2,6 5/15,19-21,23 6/7-11,14,16-18,24,29-30 7/2,4,7,20 8/5,31 9/18,22,25-28 10/2,4,10,16,21-23,31 11/1,5,8,12,21,30 12/2,4,6,8-15,21,24-25,27-30

宮本常一写真・日記集成別巻 Miyamoto Tsuneichi images of Japan and diary 1945-1981 毎日新聞社 2005年 000047293
宮本常一 1907年生 奈良県大和郡山田中学校教授嘱託として勤務。中学校を退職し、4月23日、大阪府の嘱託となる。7月10日、堺空襲により鳳の家全焼。9月11日、大島に帰る。10月20日から戦災による帰農者を引率し北海道に行く。12月22日、大阪府に辞表を提出。
昭和20年1月1日～昭和29年12月31日
12/27-31

学童集団疎開の生活 引率教員の日記 枚方市 1993年 000056557
山中良太郎 1907年生 大阪市大宮国民学校訓導。大阪府北河内郡津田町の明善寺に学童とともに集団疎開。
昭和19年8月16日～昭和20年1月31日

植草甚一日記 植草甚一スクラップ・ブック;39 晶文社 1980年 080005701
植草甚一 1908年生 東宝社員。東京都在住。
昭和20年1月1日～昭和20年8月15日
昭和45年1月1日～昭和45年5年12月31日
3/27 5/4 6/11 7/11-16,23-24,26 8/6-7

ビルマ戦線敗走日記 新風書房 1999年 000037830
江口萬 1908年生 ビルマで従軍。10月19日、武装解除。
昭和19年7月15日～昭和21年6月6日
8/27-31 9/1-14,16,18-23,26-27 10/2-7,14-15,25-27,29 11/2,4-13,15-18,20-24,26-27,29 12/15,18-22

ラバウル日記 一軍医の極秘私記 石風社 1999年 000038633
麻生徹男 1910年生 独立野戦高射砲第34隊付でラバウルに。昭和20年9月7日に降服式が行われ、9日からオーストラリア軍が進駐、捕虜となる。
昭和17年1月23日～昭和21年5月25日
1/2,5,8,15,17-18,20,22,27-31 2/1-4,6-7,12-15,17-20,22,25,27 3/1-8,10,12-17,19-23,25-27,29-30 4/1,2-7,9-15,17,19-25,27-30 5/1-2,4-5,7-13,16,18-21,23,25,27-28,30-31 6/1-3,5-7,9-12,17-19,21-23,28-30 7/1-3,6-7,9,13-16,18-23,29,31 8/3-5,7-9,11,15,20-

31 9月 10/1-3

戦場は星空の彼方に 夫の生還祈る女医の日記 毎日新聞社 1980年 000052244
相馬翠 1911年生 相馬医院医師。神奈川県中郡二宮町在住。夫は前年に出征したため、4人の子どもと暮らす。
昭和19年4月6日～昭和22年4月20日

海軍日記 最下級兵の記録 現代社 1958年 000017366
野口富士男 1911年生 横須賀海兵団110分隊所属。2月から横須賀海軍病院入院。3月24日に退院し3分隊に編入されるが、5月4日再び団内病室に入室。6月10日から保健分隊に編入。8月24日復員。妻と長男が住んでいた東京都淀橋区の自宅は、昭和20年4月5日に強制疎開の取り壊し処分となる。
昭和19年9月14日～昭和20年8月24日
1/28 2/22-28 3/1-8,11-12,14 4/4-5,9,14-15,17,24 7/31

戦場 ルソン敗戦日記 續文堂出版 1979年 000031300
浜野健三郎 1911年生 比島派遣軍報道部嘱託としてフィリピンで勤務。9月23日からカランバ収容所。12月4日に宇品港に到着。
昭和19年3月22日～昭和20年12月4日
4/24-25 6/27-29 9/8-13,16-17,24-30

将校患者 敗戦前後の日記から 金剛出版 1965年 000055756
田辺重信 1912年生 第28師団第2野戦病院豊5676部隊所属。大分県別府市の小倉陸軍病院別府分院に入院中。5月31日に静岡陸軍病院に転院、8月22日病院解散となり、神奈川県横浜市に疎開中の家族の元へ戻る。10月、川崎市立中原診療所長に就任。
昭和19年9月10日～昭和20年12月1日

細川日記 中央公論社 1978年 000030907
細川護貞 1912年生 高松宮や重臣たちの連絡役を務める。
昭和18年11月2日～昭和21年10月17日
1/1-2,4,5,7-9,11-14,17-24,26-31 2/2-7,9-10,12-15,18-26 3/1,3,5,8,10-13,15-18,20-28,31 4/1,4,6-8,10-11,13,15,17-25,27-28,30 5/2-3,5-8,10-14,16-23,25-31 6/1-9,12-20,22-30 7/14-18,20-21,23-28,30-31 8/2-5,7,22-24,27,29-31 9/1-2,5-11,13,15-18,20-22,24-30 10/1-2,4-6,10-18,20-31 11/1-2,4,6,8-13,15-22,24-27,30 12/1-16,18-25,27-30
主要人名註、人名索引あり

情報天皇に達せず 下巻 細川日記 同光社磯部書房 1953年 000003432
細川護貞 1912年生 高松宮や重臣たちの連絡役を務める。
昭和19年6月26日～昭和20年12月31日
1/1-5,7-9,11-15,17-24,26-31 2/2-7,9-10,12-15,18-26 3/1,3,5,8,10-13,15-18,20-28,31 4/14,6-11,13,15-25,27-28,30 5/2-3,5-8,10-14,16-23,25-31 6/1-10,12-20,22-30 7/1,4-18,20-21,23-28,30-31 8/2-5,7,11,20,22-24,27,29-31 9/1-2,5-11,13,15-18,20-22,24-30 10/1-6,10-18,20-31 11/1-2,4,6,8-13,15-22,24-30 12/1-16,18-25,27-30
索引あり(人名索引)

大同江 敗戦日記 流動 1971年 000052362
井上由雄 1913年生 日本電気工業株式会社から朝鮮軽金属株式会社鎮南浦工場へ出向。朝鮮鎮南浦在住。8月30日に工場が接収され、9月8日、社宅立ち退き。14日からは使役召集により土砂運び等の作業に従事。10月10日、大同江から脱出をはかり、仁川へ向かう。仁川で引揚げを待ち、10月30日釜山出港。11月2日、神奈川県横浜市の実家に帰宅。
昭和20年8月15日～昭和20年11月2日

野田日記 展転社 2007年 000050837
野田毅 1913年生 陸軍航空総監部(浜松)勤務を経て、第16飛行団司令部部員(航空少佐)として下館飛行場に勤務。9月復員。
昭和16年2月15日～昭和20年9月5日
3/14,15,18-24 3,5,8-11,24 4/14,19-21,26-27,30 5/2,3,11,21,24-

30 6/2-5,11,25 7/2,17,24,27 9/6-30
1/3,610-21,23-29はまとめて記入 2/1/31-13,16-17はまとめて記入

日記 実業之日本社 1982年 080005702
串田孫一 1915年生 東京都豊島区巣鴨在住。3月、家族5人で山形県新庄に疎開。4月、空襲で巣鴨の自宅焼失。
昭和18年10月23日～昭和21年9月25日
1/1-2,4,6-7,9,12-21,23-31 2/3-4,7-22,25-29 3/1-21,24-31 4/1-4,6,10,12,16-18,23,25-30 5/1-10,12-20,24-25,28,30-31 6/1,3-7,10-16,19,21-24,27-30 7/1-3,5-9,11-24,26-31
7/26は届いた書簡の記録。

諫早戦時主婦日記抄 長崎新聞社 2012年 000056070
溝口ふく 1915年生 長崎県諫早市在住。前年に夫が出征したため、娘2人との3人暮らし。
昭和19年1月7日～昭和21年6月10日
1/11,14,23-31 2/5-7,13-14,24-28 3/1-4,9-14,20 4/7-18,26-30
5/6,17,19-23,27-31 6/2,7-20,30 7/1-10,12,16-20,27-31 9/1-8,12,21,27-30 10/6,9,15,19-31 11/1-6,9,12-13,22-30 12/1-27,29

八重山戦日記 ニライ社 1999年 000048653
吉田久一 1915年生 旅団本部付通信隊員として石垣島にて勤務。
昭和19年6月20日～昭和21年1月13日

島尾敏雄日記『死の棘』までの日々 新潮社 2010年 000053509
島尾敏雄 1917年生 海軍特攻の第18震洋隊長として奄美群島加計呂麻島に勤務。8月13日出撃命令発進の号令を受けぬまま即時待機のうちに終戦を迎える。9月神戸に復員。
昭和20年6月～昭和26年12月29日
7/1-11,13-30 8/3,5,9-10,16-19,21-31
6月分は日付なし

日本大空襲 上 中公新書;326 中央公論社 1973年 000052294
原田良次 1917年生 陸軍飛行第53戦隊に所属し、松戸基地(千葉県松戸市)で勤務。
昭和19年11月1日～昭和20年3月11日
3/7,22 4/16 5/5 6/12

日本大空襲 下 中公新書;331 中央公論社 1973年 000052295
原田良次 1917年生 陸軍飛行第53戦隊に所属し、松戸基地(千葉県松戸市)で勤務。
昭和20年3月12日～昭和20年8月15日

通信技手の電探日記・巷説占領時代 太田特別電話局(松本多助) 1986年 000003057
松本多助 1917年生 大湊海軍警備府で電波兵器技術要員として従軍。青森県下北郡大湊町在住。妻と子ども3人は群馬県前橋市在住。2月17日に父の訃報が入り、10日間の忌引休暇で郷里の群馬県北甘楽郡丹生村と前橋に帰る。7月11日から、米軍の爆撃に備え兵器機材疎散作業開始。
昭和18年11月30日～昭和20年8月15日

あの頃のこと 吉沢久子、27歳。戦時下の日記 清流出版 2012年 000056069
吉沢久子 1918年生 鉄道教科書会社(千代田区神田須田町)に勤務。東京都杉並区在住。
昭和19年11月1日～昭和20年8月21日
1/2,7,10,13-21,23-26,28-30 2/1,5-6,10,13,15-16,18-27 3/2,12-13,15,17-20,23-31 4/5-7,9,11,19,21-22,24-25,28-29 5/2,4,6-8,13-16,19-22,29-31 6/4,7,9-14,19,21-30 7/3-4,6,8-17,21-22,25-31 8/2-6,11-12,18

昭和戦争文学全集第14巻 市民の日記 集英社 1965年 000042872
吉沢久子 1918年生 鉄道教科書会社(千代田区神田須田町)に勤務。東京都杉並区在住。
昭和19年11月30日～昭和20年8月21日
1/1-5,7-11,13,15-17,19-21,23-27,29,31 2/1-19,21,23-25,27

3/1-5,7-9,12-13,15-21,23-25,28 4/1-7,9-13,15-24,26-29 5/2-9,11-22,24-31 6/2-3,5-28 7/2-6,8-31 8/1-3,5-8,10,12,19-20

応召日誌 審美社 1984年 000046702
大高正博 1919年生 7月10日に再召集で東北第57部隊に入隊。9月7日召集解除。青森県弘前市在住。
昭和16年8月1日～昭和17年11月30日
昭和20年7月10日～昭和20年9月7日

ビルマ戦場日記 昭和十九年三月二十七日～昭和二十年八月二十八日 叢文社 1981年 000031627
小林育三郎 1919年生 歩兵第119連隊第2機関銃隊所属。
昭和20年3月27日～昭和20年8月28日

いくさと愛と 女性教師の戦中戦後日記 東京新聞出版局 1997年 000052223
小林波奈 1919年生 名古屋市立第三高等女学校教員。愛知県名古屋市在住。両親と2人の弟との5人暮らし。
昭和17年2月15日～昭和30年1月1日
1/1-3,5-7,9,12,14-22,24-31 2/1-8,10,14,17-25,28 3/1-2,4-5,7-8,10-11,13-18,22,24,27,29-31 4/1-11,13-14,16-18,20,22-30 5/1-4,6-26,28-31 6/1-17,19-28,30 7/2-3,5-8,11-16,18-23,25-31 8/1-8,10,12-13,20-22,24,26-31 9/1-8,10-13,15,17-28,30 10/1-13,15-25,27,29-31 11/1-2,4-8,10,12-24,26-29 12/1,3-6,9-25,27-31

戸塚の青春 戸塚海軍衛生学校日記 たくみ印刷 1980年 000003690
石橋洪一 1922年生 4月14日、戸塚海軍衛生学校入校。7月5日、横須賀海軍病院に着任。9月1日復員、広島に帰郷。
昭和20年4月12日～昭和20年8月16日
7/11,18,28-29(7/15,27 8/13-14は天気のみ)

戦争時代の光芒 ある学徒出陣慶大生の日記 ブックコム 2012年 000056128
忽那静夫 1922年生 下志津教導飛行師団第3飛行隊に所属、広島飛行場へ移駐、潜水艦探知法及び編隊超低空飛行訓練等を受ける。2月1日、ガソリン不足により飛行演習停止。
昭和18年4月2日～昭和20年2月15日
1/1-10,12-17,19-20,22-24,25-31 2/2-4,6-13,

中井英夫戦中日記 彼方より 河出書房新社 2005年 000047463
中井英夫 1922年生 市ヶ谷の陸軍参謀本部に配属(都立高等学校在学中に学徒出陣)。8月6日から、腸チフスのため入院。
昭和18年10月8日～昭和20年8月11日
1～2月 3/1-18,20-21,23,25-29,31 4/1-3,5-10,12-15,17-26,28-30 5/2-8,10-11,13-20,22-31 6/1,2-9,11-21,23-30 7/1,3-26,29-31 8/1-5,10

沖縄戦敗兵日記 シリーズ・戦争の証言16 太平出版社 1974年 000031826
野村正起 1922年生 沖縄本島で船舶工兵第26連隊第2中隊通信分隊勤務。9月14日、アメリカ軍の投降勧告に応じる。
昭和20年3月23日～昭和20年9月14日

戦中派不戦日記 番町書房 1971年 000031147
山田風太郎 1922年生 東京医学専門学校2年生。東京都目黒区在住。授業は停止されていないが、建物疎開作業等に動員される。5月24日の空襲で罹災、5月27日に知人の伝手で山形県鶴岡市に避難した後、兵庫県養父郡関宮村の実家に戻る。6月13日に帰京するが、学校の疎開に伴い、6月25日から長野県下伊那郡上郷村へ疎開。10月18日帰京。
昭和20年1月1日～昭和20年12月31日
2/28 3/1,3,9 5/24-31 6/1-4 8/3 9/14

焼けないでくれた戦中日記 空襲と勤労働員と廃虚と学徒出陣 リヨン社 1994年 000020838
小松道男 1924年生 東京外語大学2年生。東京都世田谷区在住。三菱製鋼亀戸工場に勤労働員。4月6日、東部六部隊に入隊。神奈川県中郡金目村の国民学校を宿舍とし、本土防衛の陣地作りにつとめる。9月7日に部隊解散。8日に帰京。

昭和18年9月28日～昭和20年10月28日
1/2-4,6-9,11-20,23-29,31 2/1-3,7-8,10-11,13-16,18,20,23-27
3/1-10,12,17-21,23-25,28-31 4/2,5-12,14-30 5/1-5,7-11,17-18,
20,23,25-31 6/1-2,4,6-7,9,11-13,15,17-18,20-24,26-30 7/2-4,7-9,
11-12,15,16-22,24-26,28 8/1,3-5,7,10-31 9/1-8,15-17,19-23,26-28,
30 10/1-6,8-11,13-16,18-23,25-27

疎開教師20歳の日記 昭和19年8月～20年3月 大村書店 1994年
000032140
浜田晶子 1924年生 東京都神田区芳林国民学校に勤務。集
団疎開の引率教師として埼玉県北葛飾郡幸手町で生活。
昭和19年8月21日～昭和20年3月12日

小金芳弘戦中日記 東海大学出版会 2009年 000052186
小金芳弘 1925年生 学習院高等科2年。東京都渋谷区恵比
寿在住。学校生活の半分は学校工場で授業が授業。4月16日
の空襲で学習院の校舎の大部分が焼失。7月12日から15日、
特別幹部候補生と海軍予備学生の試験を受ける。8月21日か
ら10月19日は、家族の疎開先(父の生家)である神奈川県足柄
上郡酒田村に滞在。
昭和13年1月1日～昭和20年12月31日
1/2-4,8-19,21,24-27,29-31 2/1-15,17-19,21,24-31 3/1-6,8-9,11,
13,15-16,18-19,22-31 4/1,3,11-12,15,18,20,26,29-30 5/1,5,10-11,
13,15-23,28,31 6/2-10,12-15,17,19-30 7/1-3,5-11,16,20-22,24-
26,28-31 8/1-7,9,13,18-20,22-27,29 9/3-5,7-11,13-14,16-31
10/2,5,7,8-11,13-18,20-22,24-31 11/2-4,6-7,9-14,16,18-19,21-
23,25-27,30 12/1-2,4-6,8-9,11-15,17-19,21-24,26-27,29-30

沼津海軍工廠学徒通年動員日記 沼津資料集成; 4 沼津市立駿
河図書館 1976年 000055417
佐藤一正 1928年生 静岡県立沼津中学校4年生(～5年生)。
沼津海軍工廠に勤労働員。
昭和19年7月19日～昭和20年3月27日

私の戦中日記 未來社 1966年 000024144
白鳥邦夫 1928年生 長野中学校4年生。日本無線長野工場
に勤労働員。3月に卒業、4月に海軍経理学校入学。8月18日
に休暇が廃止され、8月23日帰郷。浪人後、11月15日松本高
等学校に編入。
昭和20年1月1日～昭和20年12月31日
1/10,15,27,29 2/13,16 3/5-31 4/1-2 8/23-31 9～10月 11/1-14

ある中学生の戦中日記 阪神空襲実録 東方出版 1991年
000047874
高瀬湊 1928年生 3月に灘中学校を4年で繰り上げ卒業。
関西学院大学専門部に入学。動員学徒として日東航空で勤務。
昭和20年1月1日～昭和20年8月9日
7/19-20,26-27

グリコ日記 僕の見た太平洋戦争 学生社 1995年 000020447
小島吉孝 1929年生 名古屋中学校3年生(～4年生)。愛知県
名古屋市北区在住。日本通運大曾根支店、練兵場の高射砲陣
地等に勤労働員。3月20日の空襲で校舎が全焼、修理と火消
しに動員される。5月10日、母、弟と共に東谷山(春日井市高
蔵寺地区)に疎開。8月29日、日本通運勤労働員解除。9月10
日から杉村区民学校を借りて授業再開。
昭和16年11月19日～昭和20年11月13日
1/2,4-7,9-10,14,17,10-22,25,28,30 2/1,3-8,12,14,17-18,20,23,26-
28 3/1-3,8,11-13,15-16,19,21-26,28-31 4月 5/1-3,8,12,15-16,
19-31 6/1-9,11,13-16,20,21,23-26,28-30 7/3-18,20-23,29-31
8/1-4,8,19,25-26,28,31 9/1,3,12,14,17-18,20-21,23-24,27,29-30
10/1,3-6,8-11,14-25,27-31 11/3-12

いのち 戦時下の一少女の日記 白帝社 1996年 000045053
八牧美喜子 1929年生 福島県相馬郡原町在住。
昭和18年12月28日～昭和20年4月13日
1/2,4-6,11-15,18,22,25,27-30 2/8-11,17-18,20-21,24-28 3/1-3,
6-9,12,14,16,19-20,22-25,27-31/4/3-4,6-7,10-11,14-30

死の影に生きて 太平洋戦争下の中学生勤労働員日記 太平出版

社 1971年 000023703
小熊宗克 1930年生 千葉県東葛飾郡我孫子町在住。祖父、両
親、弟と5人暮らし。千葉県立東葛飾中学校2年生(～3年生)。
日立製作所柏工場に勤労働員。8月25日工場出勤終了。
昭和19年1月19日～昭和20年8月27日
1/1-7 7/9

軍国少女の日記 カタログハウス 1995年 000035801
芹沢茂登子 1930年生 大阪府立清水谷高等女学校3年生。
大阪府大阪市在住。枚方の陸軍造兵廠第五製造所天の川工場
で勤労働員。
昭和18年4月9日～昭和20年12月23日
1/1-11,13-29,31 2/1,3-16,18-28 3月 4/2-12,14-25,27-29 5/1-3,
5-17,20-21,23-31 6月 7/1-8,11-23,26,28,30-31 8/1-4,6-13,19-26,
28-31 9/1-3,5-9.11-14,16-23,25-26,28 10/1-5,8,10-20,22-25,27-29,
31 11/1,3,5-17,19-22,

学徒勤労働員日記——一九四五年 朝日新聞東京本社朝日新聞出版サ
ービス(制作) 1997年 000037306
西村榮雄 1930年生 千葉県立安房中学校3年生(～4年生)、
千葉県君津郡君津町の第2海軍航空廠八重原工場に学徒動員。
一家で疎開のため、7月28日からは山口県熊毛郡阿月村に転居
し、山口県立柳井中学校に転校。
昭和20年3月12日～昭和20年12月31日
3/13-15,21,23-24,26,29-31 6/30

授業がなかった学校 戦時下の女子中学生の絵日記 偕成社
1986年 000056042
伊藤治子 1931年生 常磐松高等女学校2年生(～3年生)。
東京都世田谷区在住。8月15日までは三共製菓株式会社品川
工場に勤労働員。5月25日、空襲で校舎焼失。9月6日より常
磐松国民学校の教室を借りて授業再開。
昭和20年3月21日～昭和21年3月26日
3/22,27,29 4/2-28,30 5/2,5-7,10,12-13,20-21,28,31 6/3-4,6,9-10,
12-14,16-17,20-30 7/2-5,7,9,13-21,23-26,31 8/3,6,17-24,26-31
9/1-5,8,11-30 10/1,3-22,24-31 11/1,5-10,12-17,19-30 12/1-
5,7,9-24,26-31

戦中戦後少年の日記 一九四四～四五年 同時代社 2014年
000058489
藤田秀雄 1931年生 東京都立第三中学校1年生(～2年生)。
東京都日本橋区在住。
昭和19年1月1日～昭和20年12月31日
1/10,13-14,16,20-25,28-31 2/1,6,9,12-14,21,23-24,27 3/1,3-5,
7-9,12-17,20,23-26 4/1,3,5-6,8,11-12,19,28 5/5-6,9,13,15-16,
18,20,22-23,25-26,31 6/1,3,5-6,8-9,12-13,15-17,19-22,24,26-27,
2-30 7/1-2,4-5,7-9,11,13-20,22,24-26,28,30 8/2,4,7-8,10-13,16,
19,24,29-30 9/1,5-7,11-14,17,20-21,23-24,26,29-30 10/2-5,8,10,
12,14,15-16,18,20-22,25,28-29,31 11/1,3-4,6-8,12-14,16-19,22,
24-25,27-29 12/1-7,9,11-12,14-16,18-20,24,26,28-29

あこのころ 戦争体験記戦時下の中学生の日記より 町田市 1992年
000056047
若林直幸 1931年生 東京都立千歳中学校1年生(～2年生)。
東京都南多摩郡町田町在住。3月19日から農作業や資材運搬
等の勤勞奉仕作業開始。6月18日から滑空班(部活動)で訓練が
始まる。東京陸軍幼年学校を受験し、8月11日第一期試験に
合格。
昭和19年6月11日～昭和20年9月12日
3/14,17 9/8-9

お父さんが子供で戦争のころ 学童疎開日記 毎日新聞社 1972年
000028609
明村宏 1933年生 東京都本郷区昭和国民学校5年生(～6年
生)。栃木県那須郡馬頭町の宝積寺に集団疎開。
昭和19年8月24日～昭和20年8月31日
1/4,16,20-22,24-26,28-29 2/1-4,7-9,15,17,21-22,24-26 3/2,5-7,
11-15,17,19-20,23,26-27,30 4/3,5,7-9,15,19,24 5/2,6,10,12,16-17,
21-22,27,29 6/2,6-7,10,23,26-27 7/11,14-17,19-20

学童集団疎開親と子の往復書簡 昭和十九年八月二十四日—二十年十一月六日 星田言 刊行年不明 000053320
星田言 1933年生 東京都杉並区桃井第二国民学校5年生。長野県小県郡別所村別所温泉に集団疎開。
昭和20年10月1日～昭和20年9月3日
1/23までは絵日記(文章のみ抜粋)。2/14-4/1までは「一日一善日記」、8/11-9/3までは「前山学寮日記」

少年たちの日々 日記と手紙が語る学童集団疎開 2010年 000054364
堀幸夫 1933年生 東京都渋谷区笹塚国民学校5年生(～6年生)。富山県東砺波郡東山見山の西蓮寺に集団疎開。10月18日帰京。
昭和19年10月26日～昭和20年10月18日
1/19-20,25-31 2/1-8,21,23 4/8 5/9-10,13,17,20 7/16

豊島区立郷土資料館調査報告書第6集 豊島の集団学童疎開資料集2 豊島区立郷土資料館 1991 160003940
神尾千鶴子 1935年生 東京都豊島区長崎第五国民学校4年生(～5年生)。福島県相馬郡鹿島町に集団疎開。6月23日、同県耶麻郡木幡村に再疎開。
昭和19年11月9日～昭和20年10月6日
1/19-31 2/1-7,17-20,22,24-28 3/7,11,15-17,20,25,27,29 4/12,21 5/7-14,19,23,31 6月 7/1-25,27-31 8/1-17 9/5

疎開学童の日記 九歳の少女がとらえた終戦前後 中央公論社 1965年 000003841
中根美宝子 1935年生 東京女子高等師範学校附属国民学校4年生(～5年生)。昭和20年4月1日に北多摩郡東村山から富山県砺波郡福光町に再疎開(集団疎開)。
昭和20年3月24日～昭和21年3月8日
7/28 11/30 12/1

夏休みに戦争が終わった 国民学校生徒の日記 文芸社 2012年 000056380
首藤隆司 1936年生 高松市立光が丘国民学校4年生。香川県高松市在住。
昭和20年4月6日～昭和20年9月14日
4/8-9,14-15,19,21-26,29 5/3-4,6-7,10,12-13,15-31 6/2-3,5-13,15-30 7/1,4-5,7-13,15-31 8/1-9,11-12,14,16-31 9/2,7-9,11-13

無量寺日記 一集団疎開学童が記録した昭和二十年 平野鍾 2001年 060001961
平野鍾 1936年生 東京都中野区立桃園第三国民学校2年生(～3年生)。長野県上伊那郡箕輪村の無量寺に集団疎開。11月13日に帰京。
昭和20年1月1日～昭和20年12月31日

戦時下の日々を生きて 下 共立女学校一学徒の日記より 横浜共立学園 1999年 000038379
伊東和江 横浜共立女学校4年生。神奈川県横浜市在住。3月に卒業し、7月1日に女子専門学校に入学するが、出身学校での勤労動員を継続することとなる。7月30日から専門学校へ登校開始、隔日で授業と作業訓練等を行う。
昭和19年10月20日～昭和21年4月10日
1/3,5-7,10,31-14,17-25,28,30-31 2/1-7,10-15,20,22-23,25-28 3/1-9,11-28,31 4/1-2,5-6,9-12,16,18-21,23,25-28 5/1-2,4-5,7,11-13,15-16,23,27 6/2-9,12-14,21-23,25,27,30 7/2,5,7,9,12,15-16,19,21-22,24,27,31 8/2,4-6,10,12,14,18,21,23-25,27,29,31 9/1,3,5-7,9,11-12,14-16,18-19,21-30 10/1-5,7-15,17-31 11/1-2,4-17,19-30 12/1,3-7,10-15,17-24,26-28

著者プロフィール

佐藤綾子(さとう・あやこ)昭和47年長野県生まれ。
専修大学文学部国文学科卒業。現在、昭和館図書情報部図書情報課図書係長。

雙葉第一初等学校集団疎開の日記と思い出 当時五年生の記録 2013年 060005042
久保依子 雙葉第一初等学校5年生。静岡県静岡市の不二高等女学校に集団疎開。1月に肺炎に罹り予後のため帰京。
昭和19年8月25日～昭和20年1月21日

雙葉第一初等学校集団疎開の日記と思い出 当時五年生の記録 2013年 060005042
小寺美津 雙葉第一初等学校5年生。静岡県静岡市の不二高等女学校に集団疎開。3月20日帰京。
昭和19年11月14日～昭和20年3月19日
1/1-21 2/2,5-6,12-13,28

ある少女の集団疎開日記 表現社 1984年 000056554
石川依久子 東京都中野区塔山国民学校5年生(～6年生)。長野県諏訪郡下諏訪町に集団疎開。5月26日の空襲で自宅と校舎焼失。11月7日帰京。
昭和20年1月1日～昭和20年11月10日

豊島区立郷土資料館調査報告書第5集 豊島の集団学童疎開資料集1 豊島区立郷土資料館 1990年 160003939
乾芳子 東京都豊島区時習国民学校5年生(～6年生)。長野県埴科郡坂城町に集団疎開。
昭和19年9月19日～昭和20年4月30日

豊島区立郷土資料館調査報告書第20集 豊島の集団学童疎開資料集9 豊島区立郷土資料館 2008年 160002505
田村多喜子 東京都豊島区長崎第三国民学校5年生(～6年生)。山形県北村山郡榑岡町に集団疎開。6月1日、山形市の学寮に移る。7月23日、同市内の別学寮に移る。
昭和19年8月31日～昭和20年10月3日
1/8-15,17-28,30-31 2月 3/1-30 4/3-11,14 5/25-31 6/8-10 7/2-22,24-31 8月 9/3,13-30

学童疎開日記 [藤原立子] 2009年 000052097
辻井光子 東京都本郷区立根津国民学校5年生(～6年生)。栃木県塩谷郡福塩塩原町に疎開中。9月17日に那須郡小川町に移る。10月13日帰京。
昭和19年9月17日～昭和20年10月13日

豊島区立郷土資料館調査報告書第20集 豊島の集団学童疎開資料集9 豊島区立郷土資料館 2008年 160002505
岡佑子 東京都豊島区長崎第二国民学校4年生(～5年生)。山形県西村山郡寒河江町に集団疎開。11月2日帰京。
昭和19年9月8日～昭和20年11月2日
4/5-9 7/20 8/20 9/13-15

豊島区立郷土資料館調査報告書第5集 豊島の集団学童疎開資料集1 豊島区立郷土資料館 1990年 160003939
菊川武彦 東京都豊島区時習国民学校4年生(～5年生)。長野県埴科郡戸倉町に集団疎開。4月20日、別の学寮に移る。
昭和20年1月6日～昭和20年4月30日

B29がせめてきた 三年生の絵日記 せせらぎ出版 2000年 060001848
井戸本幸子 兵庫県揖保郡御津村立御津国民学校3年に在学。大阪府大阪市から、父の実家である兵庫県揖保郡御津村に縁故疎開。
昭和19年11月23日～昭和20年1月10日
12/16